

事業報告書

自 令和2年 4月 1日
至 令和3年 3月31日

公益財団法人 マキヤ奨学会

1. 事業の状況

(1) 奨学金の支給

第1回支給 令和2年7月31日 21名に対し各100,000円 計2,100,000円
(2,3年生の1回目分)

第2回支給 令和2年9月30日 32名に対し各100,000円 計4,300,000円
(1年生の1,2回目分、2,3年生の2回目分)

第3回支給 令和3年1月29日 31名に対し各100,000円 計3,100,000円
(資格喪失により1名減)

(2) 奨学生の指導

例年執り行っている授与式及び懇親会はコロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

2. 処務の概況

1. 役員に関する事項

(1) 理事・監事

役名	氏名	就任年月日	報酬	略歴	備考
理事長	矢部利久	令和1年6月21日	あり	(株)マキ取締役	任期2年
理事	大塩秀樹	同	同	(株)黄瀬川自動車学校代表取締役	〃
同	高田道雄	令和2年6月26日	同	元県立沼津商業高等学校長	〃
監事	高橋 寛	平成29年6月23日	同	ブロックス司法書士 代表	任期4年

※理事林茂樹氏は、令和2年6月26日に辞任いたしました。

※理事高田道雄氏は退任した林茂樹氏の補欠として就任したため任期満了時期は他の理事と同日です。

(2) 評議員

役名	氏名	就任年月日	報酬	略歴	備考
評議員	村井和子	平成30年6月22日	あり	元沼津市立第四中学校校長	任期4年
同	山田勝造	同	同	元県立三島北高等学校校長	〃
同	工藤達朗	令和2年6月26日	同	社会福祉法人沼津社会福祉協議会 会長(現任)	〃

※評議員秋鹿敏夫氏は、令和2年6月26日に辞任いたしました。

※評議員工藤達朗氏は退任した秋鹿敏夫氏の補欠として就任したため任期満了時期は他の評議員と同日です。

(3) 選考委員

役名	氏名	就任年月日	報酬	略歴	備考
選考委員	村井和子	平成24年5月25日	あり	元沼津市立第四中学校校長	
同	山田勝造	同	同	元県立三島北高等学校校長	
同	工藤達朗	令和2年6月26日	同	社会福祉法人沼津社会福祉協議会 会長(現任)	

2. 職員に関する事項

職務	氏名	就任年月日	担当事務	手当	備考
事務局長	矢部正利	平成24年7月24日	総括	なし	

3. 会議に関する事項

(1) 理事会

開会年月日	議事事項	会議の結果
令和2年6月10日 みなし決議による理事会	第1号議案 平成31年度事業報告承認の件	可決
	第2号議案 平成31年度計算書類及び財産目録承認の件	同
	第3号議案 評議員会招集の決定の件	同
	第4号議案 上記議案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなされる日は、令和2年6月10日とすること。	同
令和3年2月4日 みなし決議による理事会	第1号議案 令和3年度事業計画承認の件	可決
	第2号議案 令和3年度収支予算案承認の件	同
	第3号議案 令和3年度募集要項承認の件	同
	第4号議案 評議員会招集の決定の件	同
	第5号議案 上記議案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなされる日は、令和3年2月4日とすること。	同

※執行の状況の報告については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実際に集まって理事会を開催することが困難だったため、理事各位に書面にて報告をすることにより実施した。

(2) 評議員会

開会年月日	議事事項	会議の結果
令和2年6月26日 みなし決議による理事会	第1号議案 平成31年度事業報告承認の件	可決
	第2号議案 平成31年度計算書類及び財産目録承認の件	同
	第3号議案 評議員選任の件	同
	第4号議案 理事選任の件	同
	第5号議案 上記議案を可決する旨の評議員会の決議があったものとみなされる日は、令和2年6月26日とすること。	同
令和3年2月19日 みなし決議による理事会	第1号議案 令和3年度事業計画承認の件	可決
	第2号議案 令和3年度収支予算案承認の件	同
	第3号議案 令和3年度募集要項承認の件	同
	第4号議案 上記議案を可決する旨の評議員会の決議があったものとみなされる日は、令和3年2月19日とすること。	同

4. 契約に関する事項

該当する事項はございません。

5. 寄附金に関する事項

該当する事項はございません。

6. 借入金に関する事項

該当する事項はございません。

貸借対照表

令和3年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
普通預金	4,358,343	3,792,197	566,146
定期預金	5,000,000	5,000,000	0
流動資産合計	9,358,343	8,792,197	566,146
2. 固定資産			
基本財産			
定期預金	140,060,000	140,060,000	0
有価証券	711,900,000	486,500,000	225,400,000
基本財産合計	851,960,000	626,560,000	225,400,000
特定財産			
管理運営積立資産	10,000,918	10,000,918	0
奨学事業積立資産	348,210	83,210	265,000
特定財産合計	10,349,128	10,084,128	265,000
固定資産合計	862,309,128	636,644,128	225,665,000
資 産 合 計	871,667,471	645,436,325	226,231,146
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	275,000	0	275,000
流動負債合計	275,000	0	275,000
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負 債 合 計	275,000	0	275,000
II. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	852,308,210	626,643,210	225,665,000
(うち基本財産への充当額)	(851,960,000)	(626,560,000)	225,400,000
(うち特定資産への充当額)	(348,210)	(83,210)	265,000
2. 一般正味財産	19,084,261	18,793,115	291,146
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	0
(うち特定資産への充当額)	(10,000,918)	(10,000,918)	0
正味財産合計	871,392,471	645,436,325	225,956,146
負債及び正味財産合計	871,667,471	645,436,325	226,231,146

正味財産増減計算書
令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	10,244,831	10,565,890	△ 321,059
基本財産受取利息	9,831	18,206	△ 8,375
基本財産受取配当金	10,235,000	10,547,684	△ 312,684
雑収益	1,553	1,553	0
受取利息	1,553	1,553	0
経常収益計	10,246,384	10,567,443	△ 321,059
(2) 経常費用			
事業費	9,500,000	9,812,684	△ 312,684
奨学金給付	9,500,000	9,600,000	△ 100,000
会場費	0	170,564	△ 170,564
新聞図書費	0	42,120	△ 42,120
管理費	455,238	633,684	△ 178,446
役員報酬	90,000	55,000	35,000
会議費	23,392	139,850	△ 116,458
旅費交通費	0	90,200	△ 90,200
雑費	341,846	348,634	△ 6,788
経常費用計	9,955,238	10,446,368	△ 491,130
当期経常増減額	291,146	121,075	170,071
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	291,146	121,075	170,071
一般正味財産期首残高	18,793,115	18,672,040	121,075
一般正味財産期末残高	19,084,261	18,793,115	291,146
II 指定正味財産増減の部			
基本財産受取利息	9,831	18,206	△ 8,375
基本財産有価証券評価損益	225,400,000	△ 23,800,000	249,200,000
基本財産受取配当金	10,500,000	10,500,000	0
特定資産受取利息	0	0	0
一般正味財産への振替額	△ 10,244,831	△ 10,565,890	321,059
当期指定正味財産増減額	225,665,000	△ 23,847,684	249,512,684
指定正味財産期首残高	626,643,210	650,490,894	△ 23,847,684
指定正味財産期末残高	852,308,210	626,643,210	225,665,000
III 正味財産期末残高	871,392,471	645,436,325	225,956,146

正味財産増減計算書内訳表
令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計		法人会計	合計
	公1	小計		
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	9,500,000	9,500,000	744,831	10,244,831
基本財産受取利息	0	0	9,831	9,831
基本財産受取配当金	9,500,000	9,500,000	735,000	10,235,000
雑収益	0	0	1,553	1,553
受取利息	0	0	1,553	1,553
経常収益計	9,500,000	9,500,000	746,384	10,246,384
(2) 経常費用				
事業費	9,500,000	9,500,000		9,500,000
奨学金給付	9,500,000	9,500,000		9,500,000
会場費	0	0		0
新聞図書費	0	0		0
管理費			455,238	455,238
役員報酬			90,000	90,000
会議費			23,392	23,392
旅費交通費			0	0
雑費			341,846	341,846
経常費用計	9,500,000	9,500,000	455,238	9,955,238
当期経常増減額	0	0	291,146	291,146
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	0	0	291,146	291,146
他会計振替額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	291,146	291,146
一般正味財産期首残高				18,793,115
一般正味財産期末残高				19,084,261
II 指定正味財産増減の部				
基本財産受取利息	0	0	9,831	9,831
基本財産有価証券評価損益	209,622,000	209,622,000	15,778,000	225,400,000
基本財産受取配当金	9,765,000	9,765,000	735,000	10,500,000
特定資産受取利息	0	0	0	0
一般正味財産への振替額	△ 9,500,000	△ 9,500,000	△ 744,831	△ 10,244,831
当期指定正味財産増減額	209,887,000	209,887,000	15,778,000	225,665,000
指定正味財産期首残高				626,643,210
指定正味財産期末残高				852,308,210
III 正味財産期末残高				871,392,471

財務諸表に対する注記

1. 継続組織の前提に関する注記

該当する事項なし。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券
時価のあるもの…決算日の市場価格等に基づく時価法(売却原価は
移動平均法により算定)

(2) 消費税等の会計処理方法

税込方式

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	140,060,000	-	-	140,060,000
投資有価証券	486,500,000	225,400,000	-	711,900,000
小計	626,560,000	225,400,000	-	851,960,000
特定資産				
管理運営積立資産	10,000,918	1,000	1,000	10,000,918
奨学事業積立資産	83,210	348,210	83,210	348,210
小計	10,084,128	349,210	84,210	10,349,128
合計	636,644,128	349,210	84,210	862,309,128

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	うち指定正味財産 からの充当額	うち一般正味財産 からの充当額	うち負債に対応 する額
基本財産				
定期預金	140,060,000	(140,060,000)	-	-
投資有価証券	711,900,000	(711,900,000)	-	-
小計	851,960,000	(851,960,000)	-	-
特定資産				
管理運営積立資産	10,000,918	-	(10,000,918)	-
奨学事業積立資産	348,210	(348,210)	-	-
小計	10,349,128	(348,210)	(10,000,918)	-
合計	862,309,128	(852,308,210)	(10,000,918)	-

5. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内容	金額
経常収益への振替額	
基本財産運用益による振替額	
基本財産受取利息	9,831
基本財産受取配当金	10,235,000
特定資産受取利息	0
合計	10,244,831

6. その他

金融商品の状況に関する注記

(1) 金融商品に対する取組方針

当法人は、公益目的事業の財源の相当部分を運用益によって賄うため、株式により資産運用する。

なお、デリバティブ取引は行わない方針である。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

投資有価証券は、株式のみであり、発行体の信用リスク、市場価格の変動リスクにさらされている。

(3) 金融商品のリスクに係る管理体制

① 資産運用規程に基づく取引

金融商品の取引は、当法人の資産運用規程に基づき行う。

② 信用リスクの管理

株式については、発行体の信用情報や時価の状況を定期的に把握し、理事会に報告する。

③ 市場リスクの管理

株式については、時価を定期的に把握し、理事会に報告する。

附 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産について、財務諸表に対する注記に記載しているため、
内容の記載を省略する。

2. 引当金の明細

該当なし。

財 産 目 録
令和3年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	普通預金	スルガ銀行 本店	運転資金として	4,358,343	
	定期預金	スルガ銀行 本店	運転資金として	5,000,000	
流動資産合計				9,358,343	
(固定資産) 基本財産	定期預金	スルガ銀行 本店	公益目的及びその活動の用に供する財産であり、運用益を公益目的事業及び管理費の財源として使用している。	140,060,000	
	投資有価証券	㈱マキヤ株式 700,000株	公益目的及びその活動の用に供する財産であり、運用益を公益目的事業及び管理費の財源として使用している。	711,900,000	
	特定財産	管理運営積立資産	スルガ銀行 本店	管理運営業務の用に供する財産であり、運用益を管理費の財源として使用している。	10,000,913
			同上	管理運営業務の用に供する財産であり、管理費の財源として使用している。	5
	奨学事業積立資産	スルガ銀行 本店	公益目的事業の用に供する財源として使用している。	348,210	
固定資産合計				862,309,128	
資産合計				871,667,471	
(流動負債)	未払金		顧問料として	275,000	
流動負債合計				275,000	
負債合計				275,000	
正味財産				871,392,471	

令和2年度事業監査報告書

公益財団法人 マキヤ奨学会
理事長 矢部利久 殿

令和3年5月21日

公益財団法人 マキヤ奨学会 高橋 覚
監事 高橋 覚 党

私は、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの令和2年度における会計及び業務の監査を行い、次の通り報告する。

1 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、理事会及びその他の会議に出席し、理事及び使用人から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- (1) 収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は真実であると認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

以上